

小学校 4 年

本の帯を作ろう

阪南市立上荘小学校

教科

国語

単元名

本のポップや帯を作ろう

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

D-STEP 2, F-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
- 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づくことができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- 本を読んで帯を作る活動を通して、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、考えを広げることができる。

単元における学習の展開（全 5 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	・本の帯について知り、学習に見通しをもつ。 ・友だちにおすすめしたい本を 1 冊選んで読む。(☆)
第 2 次 (2 時間)	・選んだ本の「一番の魅力」を絞り込み、短い言葉でキャッチコピーを考える。(☆) (本時) ・選んだ本の紹介したいことを帯に書く。
第 3 次 (1 時間)	・選んだ本のよさを紹介し合い、学習を振り返る。

本時のねらい

選んだ本の魅力を伝えるために帯に書く内容を考え、読み手の心を動かす文章を書くことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5 分)	1. 本時のめあてをつかむ。 本の魅力を伝えるためのキャッチコピーを考えよう。	●選んだ本の魅力を、キャッチコピーにする、という本時の目標を理解し、学習の見通しをもたせる。
展開 (35 分)	2. 選んだ本を読み返しなが、紹介することがはっきりするように、「一番の魅力」が伝わるキャッチコピーを考える。 ①ワークシートに、心が一番動いた場面や魅力を書き出し、伝える内容を一つに絞る。 ②ペアになり、考えたキャッチコピーを読み合う。 ③友だちのキャッチコピーに対して、「読んでみたくなるか」「どの言葉に惹かれるか」を伝え合う。 ④友だちの意見を参考に、問いかけや短い言葉を活用し、より読み手の心を動かす言葉へと推敲する。	★学校図書館にある実際の本の帯を比較・分析し、読み手の興味を惹きつける言葉の工夫を自身の作品に生かすことができる。 ★抽出した「本の魅力」を限られた文字数に凝縮する活動を通して、目的や意図に応じて明確な語彙を吟味する力を養う。 ★ペアトークなどの対話的な学びを通して、他者の視点を取り入れ、自分の選んだ言葉をより相手の心を動かす表現へと推敲・再構成することができる。 ●ペアトークでは、「いいね」で終わらず、「『○○』という言葉がドキドキする」「この意味がよく分からない」など具体的な言葉を取り上げて感想を伝えるよう促す。 ●すごい、おもしろい等といった抽象的な言葉でとどまっている児童には、「どうすごいか」「どんな風におもしろいか」を問い返し、物語の核心に迫る具体的な言葉を引き出す。
まとめ (5 分)	3. 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	●友だちと本のキャッチコピーを読み合い、「どんなところが魅力的か」「読んでみたいと思えるか」という視点で振り返るようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

最初の授業で、「できあがった本の帯は、学級で見合う活動がある」と伝えたことで、活動の見通しをもつことができました。その結果、相手意識が生まれ、「自分が選んだ本の魅力を分かりやすく伝えたい」「どうしたら魅力が伝わるか」など主体的に学びに向かう姿が見られました。

また、実際に本に巻いて展示し、学校図書館を利用する他学年の児童も見ることができる機会を設定しました。そうすることで、「4 年生になったらぼくたちも作るのかな？」と早くも学習を楽しみにしている下級生の姿もうかがえました。



学校図書館前に帯を巻いた本を展示しました。